



ホームページ⇒

ふるさと上越 🔍

# ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町 2-1-2

TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

●本庁担当:上越市自治・市民環境部 共生まちづくり課

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-520-5680 FAX.025-520-5853



2022.8.7(日) 夷稻荷神社裏の展望台より撮影 松本栄規さん

## 「たより」No.281 目次

会員数とふるさと市場報告	1
Jネットの活動とお知らせ	2
とれたて上越	3
・上越の行事・展示会	
・上越の話題 糸魚川・上越・妙高 Sea to Summit 2022 開催	
ものづくり上越	5
懐かしいバテンレースに会いに高田へ	祖父江ひろみ
上越産品販売のお知らせ	6
鯉橋師匠高座予定	7
会員ひろば	7
失われていくのか、方言高田言葉	清水誠一
上越市からのお知らせ	8
ふるさと納税の取組を拡充しました	
Jネットからのお知らせとお願い	8

※ホームページ「ふるさと上越ネットワーク」では、「たより」を全ページカラーでご覧いただけます。

## 会員数と「ふるさと市場」販売報告

(1) 会員は601名(8月1日現在)です。(令和4年度目標610名)

(2) 「ふるさと市場」の販売取次状況(令和4年7月) 97点 146,432円 (前年同月 49点 105,635円)

### 1. サロンは、8月11日（木）にオンラインで開催

次回は、令和4年9月8日（木）次々回は10月13日（木）。ぜひご参加下さい。

昨年5月からのオンライン・サロンは今回で16回目。皆さん、それなりに慣れてこられ、話もごく自然に弾みます。

8月も、コロナ禍の日常生活から巷での飲み会、ふるさと訪問、ご夫婦での北海道知床周辺への旅行で牡蠣やニシンなどのおいしい食材再発見やミニ異文化体験など盛り沢山。皆さん、大変お元気で結構たくましく過ごされております。

なかでも、遊びをベースとする心身ともに健康な生活の話を皮切りに、「遊びこそ文化の素」そして「個性の発揮できないことは不幸」まで及び、うなづくことしきりでした。

#### 【次回以降のサロン】

サロンは、毎月第2木曜日に開催、全国どこからでも参加でき、アルコール片手に、中座も自由、勝手なことを勝手に言える集まりです。初参加大歓迎。

次回：令和4年9月8日（木）、10月14日（木）。いずれも17:15 - 19:00。（オンラインにて開催予定）。

お申込み：事務局宮里 (k.miyazato@araipt.co.jp) まで。URLをお届けします。

ご参加は超簡単、届いたURLクリック2回で参加できます。未体験者には、事前に操作方法もお手伝いしますのでお気軽にご参加ください。



#### 【実際のサロンの再開】

リアル・サロン再開へのお知恵やご意見を頂戴できれば幸いです。

当会運営委員会では、8月も再開方法を模索・検討しましたが、第7波の高まりで、決断に至っていません。再開の場合は、「たより」、HP（ホームページ）に掲載します。あるいは、事務局にお問合せください。

### 2. 秋の交流会も誠に残念ですが、中止。

8月11日の運営委員会でも開催に向けて、鋭意検討しましたが、折しも、上越市では、コロナウイルス新感染者数は過去最多（431人）となり、上越での交流そのものが難しいと判断。会員の皆様には、開催は来年以降まで待っていただきますよう、お願い申し上げます。

### 3. Jネット 2023年カレンダー写真を募集しています！

なかなか帰省できないで時世が続いております。ふるさとへの思いが募りますが、こんな時は、Jネットカレンダーで、ふるさとの上越を味わってください。

その2023年カレンダー写真を募集します。ステイホームの中にあっても撮られた、上越の風景・静物、行事や上越再発見写真、あるいは数年前に訪れた上越の写真など、お待ちしております。（定番の観光ポイント以外の写真も大歓迎）

カレンダーの表紙や2ヶ月毎の各頁に掲載、場所（行事）、撮影者名を記載します。

応募は、事務局宮里 k.miyazato@araipt.co.jp 宛てにデータで送信ください。

横長写真（縦横約2：3の比率）（画素数1000KB以上）とし、9月30日までお願いします。

#### 4. いま旬のホームページ（HP）をご覧ください。

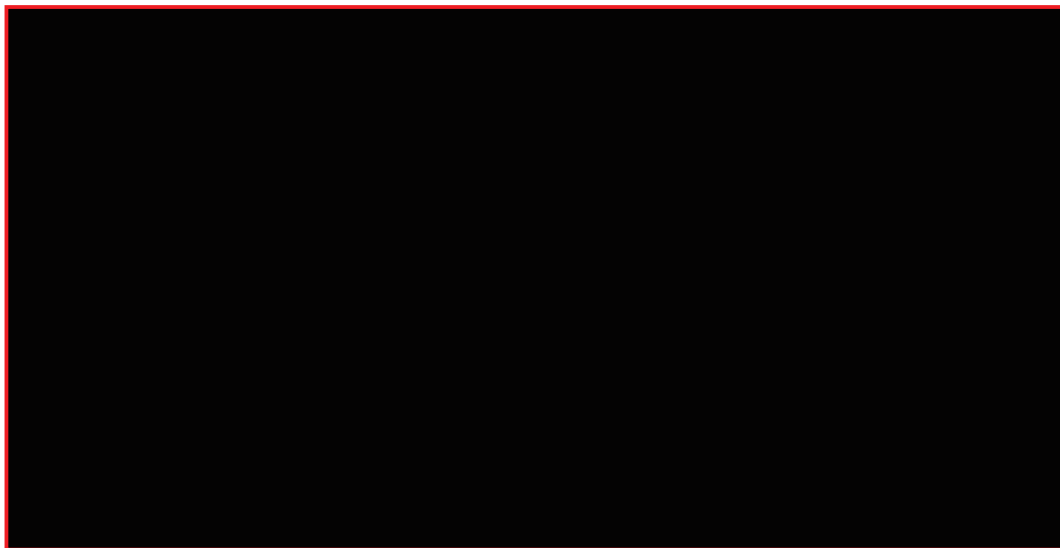
おかげさまで、JネットHPの閲覧は、国内、海外を合わせて大きく増えております。内容も、上越市の四季の写真他、次のように掲載は多様です。ぜひとも、「ふるさと上越ネットワーク」を検索し、ご覧ください。

- ・お知らせ：上越関連 TV 放映や、上越産品販売のマルシェと雪國商店などの話題。
- ・チャレンジ上越、とれたて・なんでも上越：「たより」掲載の上越記事など。
- ・「たより」：全頁カラーで過去2年分を掲載。・フォトギャラリー：上越の四季の写真多数。
- ・他HPへのリンク：上越市、上越観光ナビ、当会特別賛助会員7社のHP。

Jネット会員は、上越タイムス電子版ならびに上越ケーブルビジョン(JCV)の動画を閲覧できます。上越妙高エリアの今をお楽しみください。

##### ◎上越タイムス電子版、上越ケーブルビジョンへのアクセス方法（会員のみ）

- ① HP右肩「Jネット会員メニュー」をクリック
- ② 「ログインはこちら」をクリックし各社のHPへ
- ③ 下記のID・メールアドレス・PSWにてログインしてください。



### とれたて上越

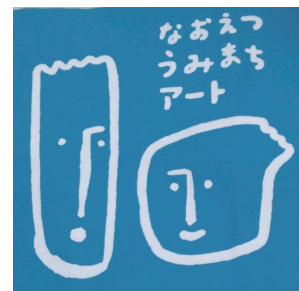
#### 1. 上越の行事・展示会

##### (1) なおえつ うみまちアート 2022

開催期間 8月20日（土）～9月25日（日）。昨年に続き、本年は、「アートでなおえつを元気に」のコンセプトを掲げ、市民の手によるアートで盛り上げます。

ワークショップ、アート作品展、うみまち水族館、直江津祇園祭屋台の展示など、様々なイベントや関連イベントが直江津地区の各所で開催されます。

詳しい内容はホームページをご覧ください。 <https://naoetsu-umimachi.com/>



##### (2) 越後謙信 SAKE まつり 2022 — 高田本町商店街

開催は10月22日（土）、23（日）。10月恒例の催しです。今年は3年ぶりの開催です。但し、コロナ禍の状況次第では内容の変更もあります。

### (3) 上越の秋を走るマラソン大会

上越の秋には、特色あふれるマラソン大会が催されます。全国からランナーが集まり、大いに盛り上がります。

#### ① 第14回えちご・くびき野100kmマラソン

開催は10月9日(日)。昨年はコロナ禍で中止、2年ぶりの開催です。

コースは、100km(リージョンプラザ上越をスタートし、三和、板倉、清里、牧、安塚、浦川原、吉川、柿崎、大潟、頸城の各区を経由)、60km(うみてらす名立をスタートし、名立区、旧上越市、頸城区を経由)の2本で、ゴールはユートピアくびき希望館。毎回、3000人前後が参加します。

#### ② 越後謙信きき酒マラソン

11月6日(日)に開催。春日山の上越埋蔵文化センターをスタートし、春日山城などの旧跡を巡る。

タイム計測や順位などの記録は一切なく、ゆるーく楽しむのがルール。ガチで速く走るのは禁止です。最後は、謙信も楽しんだきき酒で。日本一ゆるいマラソン大会です。

#### ③ 第53回越後妙高コシヒカリマラソン大会

11月13日(日)、新井総合公園発着で開催。妙高市新井を走る伝統の大会。台風禍やコロナ禍もあって4年ぶりの開催。毎回数千人規模で、今年のコースはハーフ、10キロ、3キロ、2キロ、1.2キロ。また、家族3人でタスキをつなぐファミリーコースもあります。

### (4) 特別展 「学年誌100年と玉井力三ー描かれた昭和の子どもー」 東京・日比谷図書文化館 ー学年誌の表紙画家 玉井力三(柿崎出身 洋画家)回顧展

ちょうど100年前、世界でもユニークな学年誌『小學五年生』『小學六年生』が発刊。戦後の昭和25年頃から約25年間にわたり、その「小学〇年生」の表紙画を最も多く描いたのが、玉井力三画伯(1908年～1982年)です。頬の赤い元気な子供の笑顔の表紙を記憶する方も多いはず。前向きで明るかったあの時代の勢いです。

その玉井画伯の学年誌表紙画展が、日比谷図書文化館にて開催されます。



玉井力三画伯

同展には、他にも日本海海戦を描いた「三笠艦橋の図」(玉井画伯による模写ながら、東郷平八郎元帥の直筆揮毫あり。春日新田小所有)も展示されます。

[学年誌100年と玉井力三ー描かれた昭和の子どもー]

会期：2022年9月16日(金曜日)～11月15日(火曜日)  
(休館9/19・月、10/17・月)

観覧料：一般300円、大学・高校生200円

会場：日比谷図書文化館1階 特別展示室

詳細は、日比谷図書文化館 日比谷公園1-4

TEL 03-3502-3340



ポスター画像

デザイン：祖父江慎+コズフィッシュ

画像提供：日比谷図書文化館(画像の転載・複製は禁止)

## 2. 上越の話題

### 糸魚川・上越・妙高 Sea to Summit 2022 開催

7月17日(日)、Sea to Summit2022が開催。このイベントは、アウトドアブランドのモンベル社と自治体の共同開催で、各地の自然を体感する環境スポーツイベント。3年ぶりの開催の本年は、全国12か所の会場で開催するが、上越では初めて。

上越でのコースは、能生海水浴場(糸魚川)からカヤック6km、同海水浴場に戻り、自転車で船見公園経由で上越市を通り、ロッテアライリゾートへ、そこから歩きで大毛無山頂上(妙高市)まで、総距離61km、標高差1,429mのコース。

参加者は上越3市からの30名弱を含む110名ほどで、海・里・山がダイナミックに近接しつながっている上越の自然を満喫しました。

## ものづくり上越

上越には、豊かな歴史と文化に育まれた工芸品が少なくない。中には、芸術品の域まで達し、人を魅了する。冬の豪雪の下に生まれたバテンレースもその一つ。その技術の確かさと美しさは近年見直され、人気も高い。バテンレースの日傘などは、予約数年待ちとのこと、今回は、そのバテンレースに惹かれた祖父江会員からご寄稿いただきました。

### 懐かしいバテンレースに会いに高田へ

祖父江ひろみ(直江津出身 東京在住)

今年5月(2022年)初め、懐かしいバテンレースに会いに高田へ行ってきました。昨年、市が所有する旧今井染物屋がリニューアルされてその常設工房になりました。同時に、上越市は「地域おこし協力隊」事業を創設、バテンレースの技術を引き継ぐべく九州から女性が採用されました。

懐かしい雁木通りを歩いて旧今井染物屋へ…。この建物は、江戸時代末期に建てられた城下町高田に現存する最大・最古級の町家で市の文化財に指定されています。カタカタとミシンの音に引き込まれるように一歩中へ。懐かしい土間の感触、見上げれば、天井に漆黒の梁がめぐらされた吹き抜けの町家の大空間が拡がり、長い土間続きの裏玄関からは5月の明るい光が差し込んで、柔らかな風が吹き抜けます。上がりかまちには紅い鼻緒の下駄が一足置かれて、座敷には昔懐かしいバテンレースの品々が展示されていました。



旧今井染物店

小千谷縮みとコラボした涼し気なブラウスや日傘、テーブルクロス、つけ襟、コロナ対応のオシャレなマスク、ゴールドレースのイヤリング。伝統のバテンレースにも新しい提案がされています。歴史を刻んだ町家の佇まいに清潔で美しいバテンレースがとてもよく似合って、新鮮な驚きを覚えました。素敵でした。

雁木に面した窓に向かって、ミシン作業をされていたのは吉田バテンレース3代目の吉田節子さん。ブルーの生地に白いブレードにカーブをつけながらミシンで縫い付けていけます。お話を伺えば、後日、付属小の生徒さん達の実習のための下準備でした。白いブレードの内側にかがり縫いで模様を施して仕上げるのが子ども達の仕事です。バテンレースをあしらった小さな袋物がお土産になるのだそうです。

創業120余年の長い歴史をもつバテンレースは豪雪地帯の冬の基幹産業として歴史上の幾多の困難を乗り越えて今に伝わります。ブレード(テープ)の生産からデザイン、製品まで一貫製作して

いるのは、現在国内唯一吉田バテンレース一社のみです。旧今井染物屋内・ガラス張りの機械室には、今も稼働中の「ブレード織機」が展示されています。

その名はドイツの地方都市に因むようですが、明治25年、横浜で盛況になっていた技術を宮崎慶吉（市議）、吉田寅八郎（現、吉田バテンレース先々代）が高田に呼び込み、飯島保太郎が横浜より技術者を呼んで、バテンレース工場を開設しました。

当時ブレードは輸入に頼るばかりでしたが、明治41年、根津音吉（十日町）によるブレード製織機発明と東洋ブレードの起業によりバテンレースが発展していきます。高価なバテンレースはアメリカ、ベルギー、イタリア、スペインなどに輸出されていました。



ブレード織機

深い雪に閉ざされた長い冬の女性の手仕事として、当時高田市では8000人が従事しています。明治末には有沢富太郎が東洋ブレード（株）を高田に起こし、大正5年には他にも市内でブレードの生産が始まり、バテンレースの同業者が22～23名となり、活況を呈しました。その後、第一次世界大戦、関東大震災により衰退の一途を辿ります。

時代は移り変わり、昭和に入っても、相次ぐ戦争に翻弄されるのですが、飯島保太郎、吉田要、青山雷治の3者がこの苦しい時代を乗り越えていきます。

昭和30年、2代目吉田要がバテンレースの経営を始め、日本の経済発展とともに次第に売れ始め、現在に至ります。

昔は忙しくて、小学生のころからか手伝ってきた」と、昭和、平成、令和と、次々に時代が変わる中、吉田バテンレース3代目の吉田節子さんの奮闘ぶりが際立ちます。

昨年6月東京新宿京王百貨店「NIPPONの技伝統の匠展」に出店し、人気を博しました。小千谷縮とのコラボなど時代に即した製品の開発、実演体験教室の開催、また、「地域おこし協力隊」Kさんへの技術指導等々。

Kさんは、上越市のバテンレースの見学会ですっかり魅了されて、3か月後には移住されてきた方です。Kさん、「バテンレースは繊細で美しい、テープを型紙にあてて作るレースは他にない、こんなに素敵なものが途絶えてしまうにはもったいない、師匠は吉田さんです」。



バテンレース製品

吉田さん、「最後の仕事として若い人に教えたい。若い人と接することで気持ちも若くなり喜んでいる」。Kさんは、吉田さんのバテンレースに対する強い思いを受け継ぎ、技の継承だけでなくバテンレースの魅力を広く発信、次世代にアピールしたいと考えています。

令和4年、雪国高田の伝統手工芸バテンレースは新潟県伝統工芸品に指定されました。皆様、是非一度「旧今井染物屋・バテンレース工房」（上越市大町5-5-7 TEL025-520-97887）をお訪ねください。

## 上越産品販売のお知らせ

- Jネットふるさと市場として「取次販売商品一覧」を同封します。  
現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧（A4判1枚）を同封にてお届けします。会員は送料無料でお取り寄せができますので、どうぞご利用ください。
- 上越特産市場 上越市運営による、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモール「上越特産市場」です。  
「上越特産市場 <https://www.joetsu-tokusan.jp/login/input.php>」からご覧いただき、お申込み下さい。
- 新潟・上越妙高「うまさ直送！雪国マルシェ」 商品内容は決まり次第、JネットHPに掲載します。  
恒例の上越特産品販売の「雪国マルシェ」は下記にて予定しています。  
日時 9月23日（金・祝）、24日（土）、同25日（日）・10月29日（土）、同30日（日）  
会場 有楽町交通会館1F。開業時間 11:30-17:30
- 常設店舗「雪国商店」 場所 有楽町交通会館1F 営業時間 11:00-19:00 年中無休（年末年始は休業）

♪お問合せ：JCV 東京情報センター 03 (5218) 7730

- ◇9/6(火)～10(土)、池袋演芸場、昼の部  
時 間：午後12時半～4時15分ごろ  
※鯉橋は1時15分ごろ出演  
木戸銭：2800円(65才以上500円引きなど各種割引有り、要  
お問合せ)  
主 任：遊馬。ほかに文治、マグナム小林など出演。  
お問合せ：03-3971-4545(池袋演芸場)
- ◇9/11(日)～15(木)浅草演芸ホール・夜の部＝鯉橋主任興行＝  
時 間：午後4時45分～8時45分ごろ 木戸銭：3000円  
主 任：鯉橋。ほかに夢太朗、笑遊、太福など出演。  
お問合せ：03-3841-6545(浅草演芸ホール)
- ◇9/15(木)七人の侍～流浪の落語勉強会～  
(お江戸日本橋亭〈三越前〉)午後1時～3時半ごろ、1500円。  
鯉橋ほか。

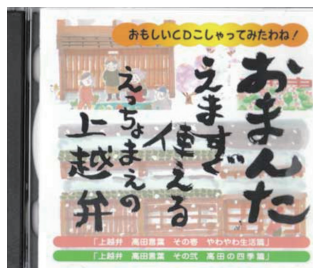
- ◇9/27(火)すえひろがりの落語会「  
俺たち日大文理」～祝・桂南楽二ツ目昇進～  
時 間：午後6時～8時半ごろ  
木戸銭：2000円(前売・予約1500円)  
出 演：里光、小柳、桃之助ーお仲入りー南楽、マジック  
ジェミー、鯉橋(以上出演順)  
会 場：お江戸日本橋亭(三越前)  
お問合せ：03-5909-3080(芸協)、または鯉橋まで。
- ◇10/18(月)八起寄席  
時 間：午後7時～8時45分 木戸銭：1000円  
出 演：鯉橋、さん光  
会 場：焼肉「八起」(相模原市南区相模大野6-19-25)  
お問合せ：042-748-2611(八起)

ブログ～七転び八起の末のホンダラダ～ <https://blog.goo.ne.jp/rikyoh3194> もぜひご覧ください。 鯉橋拜

## 会員ひろば

### 失われていくのか、方言高田言葉

清水誠一 清里区出身 小牧市在住



12年前、Jネットの紹介で購入した“えっちょまえの上越弁”のCDと送っていただいた“月刊上越”から子供の頃、話したり聞いたりした「方言高田言葉」を思い出しております。

昭和35年にふるさとを離れて60有余年になります。今でも「方言高田言葉」で話されているのでしょうか。前記のCDや資料をもとに私自身が思い出しながら、主な言葉を記してみました。

- オマンタ・オマン (あなた・きみ) アサッパラ (早朝)
- アネチャ・アネサ (女性の呼称) アンチャ・アニサ (男性の呼称)
- エライ (大変) ガイチョ (強く) カネッコリ (氷柱つらら) ゲツパ (びり最下位)
- ゴツツオ (ごちそう) ショッタレ (不潔) ショーシイ (恥ずかしい) テシヨ (小皿)
- バラコクタエ (無残なこと) ビチャル (捨てる) モーゾ (寝言)
- ベト (土) ワニックラシイ (早熟な子) カガッポイ (まぶしい)
- ノメシコキ (なまけもの) オッチョ (味噌汁) ハラクチ (お腹いっぱい)
- サベッチョコキ (おしゃべりな) エボツル (すねる) ゴソツキ (あわてもの)

まだまだたくさんあると思います。

同じ新潟県で上越地区の中でも違い、更に中越、下越、佐渡等で違った表現になるかも知れません。帰省した折、以上のような方言がありますが、年配者が多く若い人達はあまり話していないように感じます。恥ずかしい、田舎者に見られたくない、標準語の方がいい等の理由でしょうか。日常会話では話されなくても言葉自体が失われていくのは寂しい限りです。

ドラマや映画のセリフで堂々と使われているのは関西弁と九州弁(福岡弁)沖縄弁だけかも知れません。全国各地にはそれぞれ方言があり、今でも話されていると思います。ふるさとを離れたの土地でそこを終の住いとしておられる会員の方も多いことと思います。

懐かしい「方言高田言葉」を思い出して口ずさんでは如何がでしょうか。

## 上越市からのお知らせ

### ふるさと納税の取り組みを拡充しました

上越市では、ふるさと納税を受け付けています。8月より、ふるさと納税ポータルサイトの活用を開始するとともに、上越産品の魅力発信と需要を高めるため、様々な産品を寄附に対するお礼の品に追加しました。『ふるさと上越』への温かい応援をお願いいたします。

#### 【参加しているポータルサイト（6サイト）】

- ・ANAのふるさと納税 ・さとふる ・ふるさとチョイス
- ・JRE MALLふるさと納税 ・ふるぽ ・楽天ふるさと納税

※各サイトへのアクセスは、今回のたよりに同封させていただいたパンフレットをご確認ください。

#### 【主なお礼の品】

- ① 上越市への来訪機会を創出するもの
  - ・市内飲食店食事券（料亭、ワイナリー、寿司店など）
  - ・市内宿泊施設利用券（温泉宿、ゲストハウスなど）
  - ・体験サービス（施設貸し切り、市内観光プラン、観光列車乗車券、墓参り、掃除、草刈り、新聞定期購読など）
- ② 食料品米、餅、味噌、菓子、野菜、果物、肉、その他食品、酒類（日本酒、ワインなど）、お茶、その他飲料品など
- ③ その他 工業製品、雑貨など



「えちごトキめきリゾート雪月花（せつげっか）」  
お食事付プラン乗車券もご用意しています。  
一度の乗車で、海と山の景色とお料理をご堪能  
いただけるプランです。（さとふる）



上越産の美味しいお米もたくさん  
ご用意しています。

照会先：用地管財課 財産運用室（電話：025-520-5642）

## 前号掲載「ウクライナ難民を支援する市民の会」より御礼の言葉がありました。

「当会に会員の皆様よりのご浄財が届きました。見て見ぬふりはできない皆様の義の心に深く感謝申し上げますとともに、厚く御礼申し上げます。ご浄財は、10月初めに国連難民高等弁務官事務所にお届けします。まことにありがとうございました」

なお、本活動は9月末まで続きます。同会チャリティにご参加される方は、下記口座まで、ご浄財をお寄せください。

口座 上越信用金庫高田中央支店 普通預金 0589370

ウクライナ難民を支援する市民の会」代表 永島義雄

お志の金額はいくらでも結構です。

連絡・照会先 上越市幸町3-4

永島義雄 TEL 090-4740-5062



## ●●●●● ネットからののお知らせとお願い ●●●●●

記事、寄稿、投稿、メッセージをお願いします。

会員の皆様には、ぜひとも、ご自分の経験や思い出、上越の魅力、上越に役立ちそうなこと、会員の親睦を深めることなどなんでも結構ですので、記事（1,200字程度まで）と写真を送信いただければ幸いです。皆さまの貴重なお話は、読み手を元気にします。送信先：k.miyazato@araipt.co.jp



船見公園・人魚像  
公園からは直江津港や日本海を一望でき、晴れた日の夕焼けはとて綺麗で幻想的です。

撮影：松本栄規さん

コロナ禍の折、皆様には、くれぐれも健康にご留意され、お過ごしください。

◎次号「たより」は令和4年10月10日の発行です。